



choshi  
お知らせ  
news

＼受付締切は10月2日です／  
令和5年度 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金



申問 銚子市価格高騰重点支援給付金コールセンター ☎0120(123)279 8時30分～17時(平日のみ)

**住** 住民税非課税世帯などに、**3**万円(1世帯)を給付します。締切は10月2日(月)です。

**①住民税非課税世帯**

令和5年6月1日に住民登録があり、世帯全員の令和5年度分住民税均等割が非課税の世帯  
※住民税が課税されている人の扶養家族だけの世帯は除く

7月上旬に対象世帯にご案内と確認書を郵送しました。内容を確認し返送してください。

(ただし、1月2日以降の転入者を含む世帯や修正申告などで新たに住民税非課税となった世帯は、申請が必要です)

**②家計急変世帯**

令和5年1月～9月の収入が減少し、①と同様になった世帯

該当する世帯は申請が必要です。

忘れていませんか?

申請が必要な人はコールセンターへ!



市長コラム97

【アルベルゴ・ディフーズ】

銚子市長 越川 信一

「アルベルゴ・ディフーズ(分散型ホテル)」の取組が外川を舞台に動き始めた。和泉大介さん(銚子観光大使)が代表を務める『リレイル』が昨年11月、15年ほど空き家だった元釣船宿を再生し、漁村一棟貸宿「和泉屋」をオープン。さらに空家2棟を改修しホテル化、11月オープンをめざす。アルベルゴ・ディフーズ(分散型ホテル)は、地域に散らばっている空き家を宿泊施設や飲食施設などに活用し、地域ぐるみで観光客をもてなすイタリア発祥の取組。観光客が地域を巡り、溶け込んで滞在してもらう狙いがある。

和泉さんの原点は、銚子商業高校時代の体験。2014年に脱線事故をおこした銚子電鉄の車両の修理代を集めようと銚商の仲間と共に立ち上がり、クラウドファンディングで全国に寄付を呼びかけ資金を調達。銚子電鉄車両復活の大きな原動力となった。卒業後は「地域の未来にレールを敷こう」と『リレイル』を立ち上げ、サブサンドなどを商品開発。「やりたい」「したい」を実現できる銚子にしよう」と呼びかけて共感の輪を広げ、銚子出身の若者や地域おこし協力隊員も和泉さんの活動を応援。「和泉屋」のDIY改修には70名の若者が参加した。

江戸時代、紀州から移住した崎山治郎右衛門によって作られた碁盤の目状の町並みや外川漁港。大正12年建築の銚子電鉄外川駅舎、外川をガイドする『外川ミニ郷土資料館』、真夜中に出航するきんめ船、狭い路地、人情味あふれる商店街などなど、外川はおもちゃ箱のように楽しい。地域ぐるみで観光客をもてなす『アルベルゴ・ディフーズ』に最適の町だ。